

村の世帯・人口

昭和49年 3 月末日現在

総世帯数 2,459戸

人 口 11,376人

男 5,759人

女 5,617人

3 月の人口移動

出生 20 死亡 5

転入112 転出123

婚姻 9 離婚 0



広報にはら

発 行 所
西 原 村 役 場
電話 (098995) 5011
5013・5012
印 刷 所
桑 江 印 刷 所
電話 (098995) 2365

一、村 政 情 報

- 一、第二回環境衛生週間終る……………1
- 一、水道事業前半期工事予定……………2
- 一、広報にしはら利用状況調べ、まとめ…3
- 一、第十回参議院議員お知らせ……………4

二、村 民 の 広 場

- 一、西原中学校体育館落成……………7
- 一、村畜産組合昭和四十九年度
定期総会終る……………9
- 一、村養豚組合昭和四十九年
定期総会終る……………9
- 一、第二回西原村老人クラブ
大会にぎわう……………10
- 一、青年学級開校す……………12
- 一、西原中学校PTA総会終る……………13
- 一、金鷄勲章者紹介……………14
- 一、村体協の本年度事業計画まとまる…14
- 一、私の主張……………15
- 一、児童手当を受けている皆さんへ…16
- 一、昭和四十九年就業構造基本
調査の協力願ひ……………16
- 一、芳志御礼……………16

見 直 そ う こ の 一 票 の 意 義 と 価 値

第二回環境衛生週間終る

去る六月五日から十一日までの七日間、環境衛生週間が実施されました。

ている。

こうした全人類の課題として提起されている環境破壊の問題に対処するため、去年の十二月、国連で毎年

六月五日を「世界環境デー」とすることを決議。

この環境衛生週間は、科学技術の発展が人類に経済的な発展をもたらした反面、人間の生活環境に公害をもたらし、自然破壊を促進して、環境問題は地球全体に、ますます深刻な問題になっていることに端を発し

こうして、環境問題に対する認識を深めるための世界的な活動が決定されています。

この趣旨にのっとって、わが国でも昨年、六月五日を初日とする「環境週間」を設け、県、市町村、民間団体の協力を得て運動を展開しました。

今年も第二回目の「環境週間」を迎え、各種公害を防止、自然環境を積極的に保護する運動が、力強く展開されました。

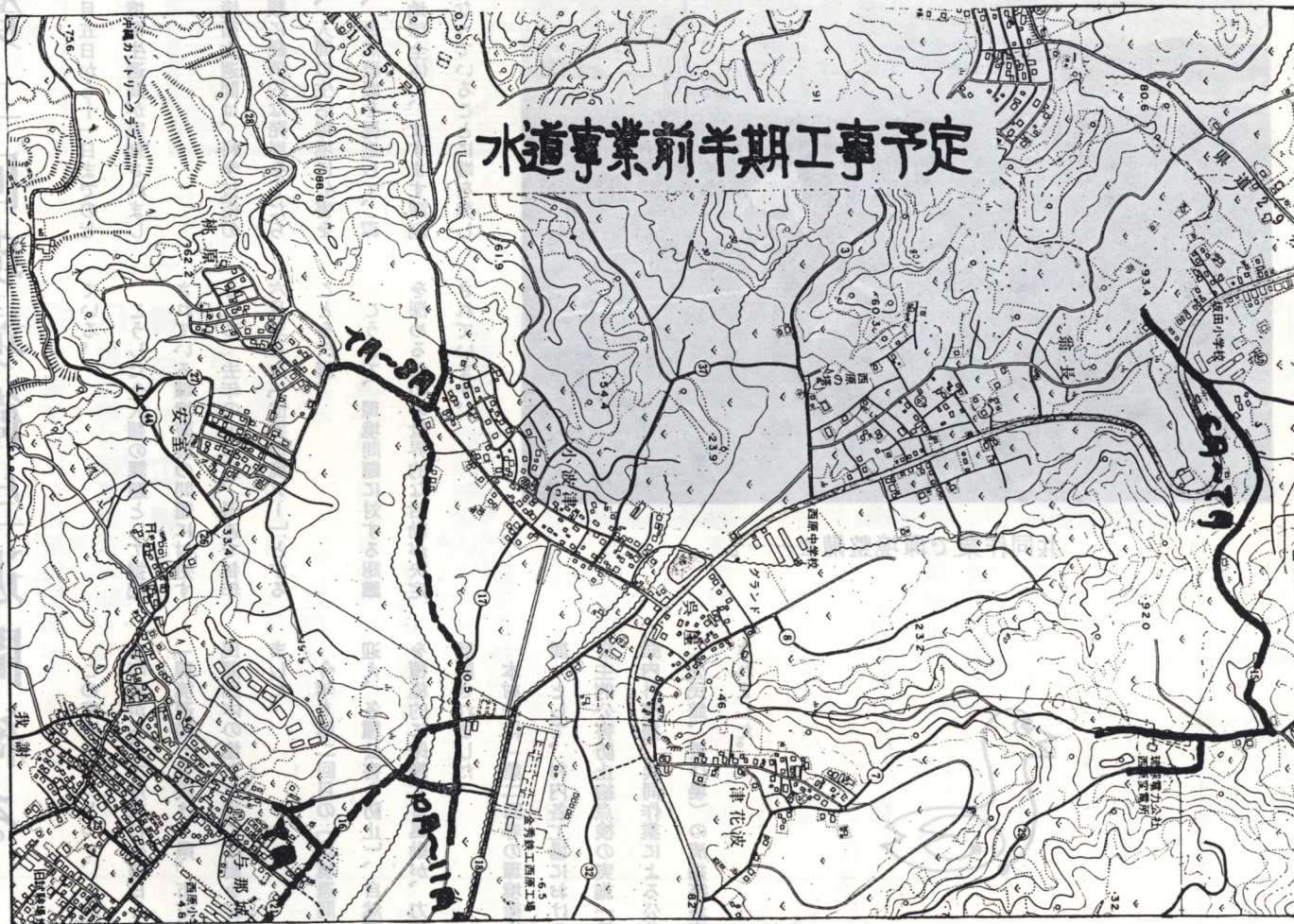
本村では「第二回春の環境衛生週間」として、村内各工場における、自主的公害防止総点検の実施一般家庭内外清掃、共同作業による公共物（公民館、遊び場）の清掃等が実施されました。



共同作業で環境整備を……。



「清掃で美しい村づくり！」



広報にしはら

利用状況調べ報告

五月初めに各字事務担当者の協力を得て、広報にしはらの利用状況のアンケートをとった所五四名の回答をいただきました。

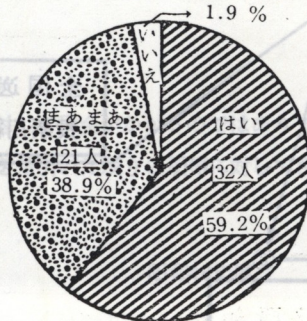
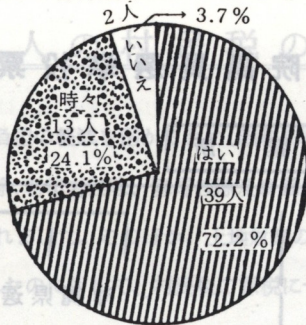
そのアンケートを参考にしまして従来発行しております「広報にしはら」が、よりいっそう村民の皆様に愛し、親しまれ、御利用いただけるよう紙面づくりにつとめたいと思います。

アンケートの回答状況を、質問ごとに御紹介いたします。

役立っていると評価しています。今後ともより広く、より早く、村政を御紹介するようつとめて行きたいと思っています。

質問五の場合は五十一人の方が読みやすい文章との答えです。できるだけ難しい漢字をさけ、慣用語を使って、読みやすく、理解しやすい文章に努めたいと思います。

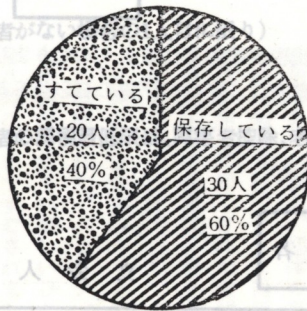
1. 毎月配布されていますか。



3. 親しみがもてますか。



4. 全ページ、目を通しますか。

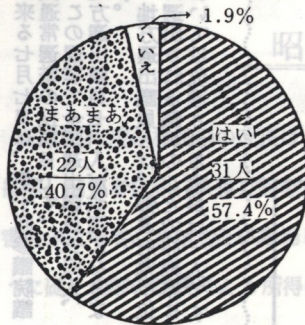


7. 読んだ後はどうしていますか。

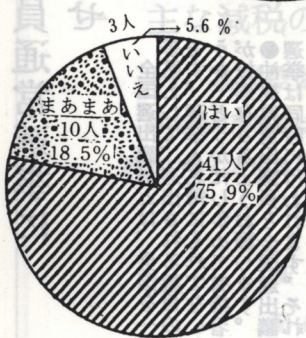


6. 変化に富んだ内容だと思いますか。

2. 村政を理解するのに役立っていますか。



質問二の場合は村政の理解に役立っているが三十一人、まあまあが二十二人合わせて五十三人、九八%の人が



5. 読みやすい文章ですか。

質問四の場合は全ページに一様目を通すという方が少ないことがわかります。もっと興味ある。読みやすい紙面づくりにつとめたいと思います。

質問七の場合は読んだ後、保存している人が三〇人、六〇%で少ない。現在発行している広報の主旨には、村政を理解してもらうという主目的と、村政の足跡を資料として保存するというねらいもあります。読んでも後も有効に利用できるよう、まとめて、保存するようにしましょう。

第十回参議院議員通常選挙についてのお知らせ

来る七月七日は、第十回参議院議員通常選挙の投票日です。

この選挙で全国選出議員五十四人、地方選出議員七十六人が改選になります。

地方選出議員とは、都道府県単位に選出される議員のことです。沖縄県においては改選される議員は一人です。

全国選出議員とは、全国を一つの選挙区として、選出される議員のことです。選挙人名簿にもれてないかどうかが、どうかたしかめて有権者全員が投票できるように願います。

●沖縄県選出議員と全国選出議員の選挙は同時に行われます。それぞれ投票用紙に候補者一人の氏名を書

いてください。

●投票所内に候補者の氏名を掲示してありますから投票の前にたしかめてください。

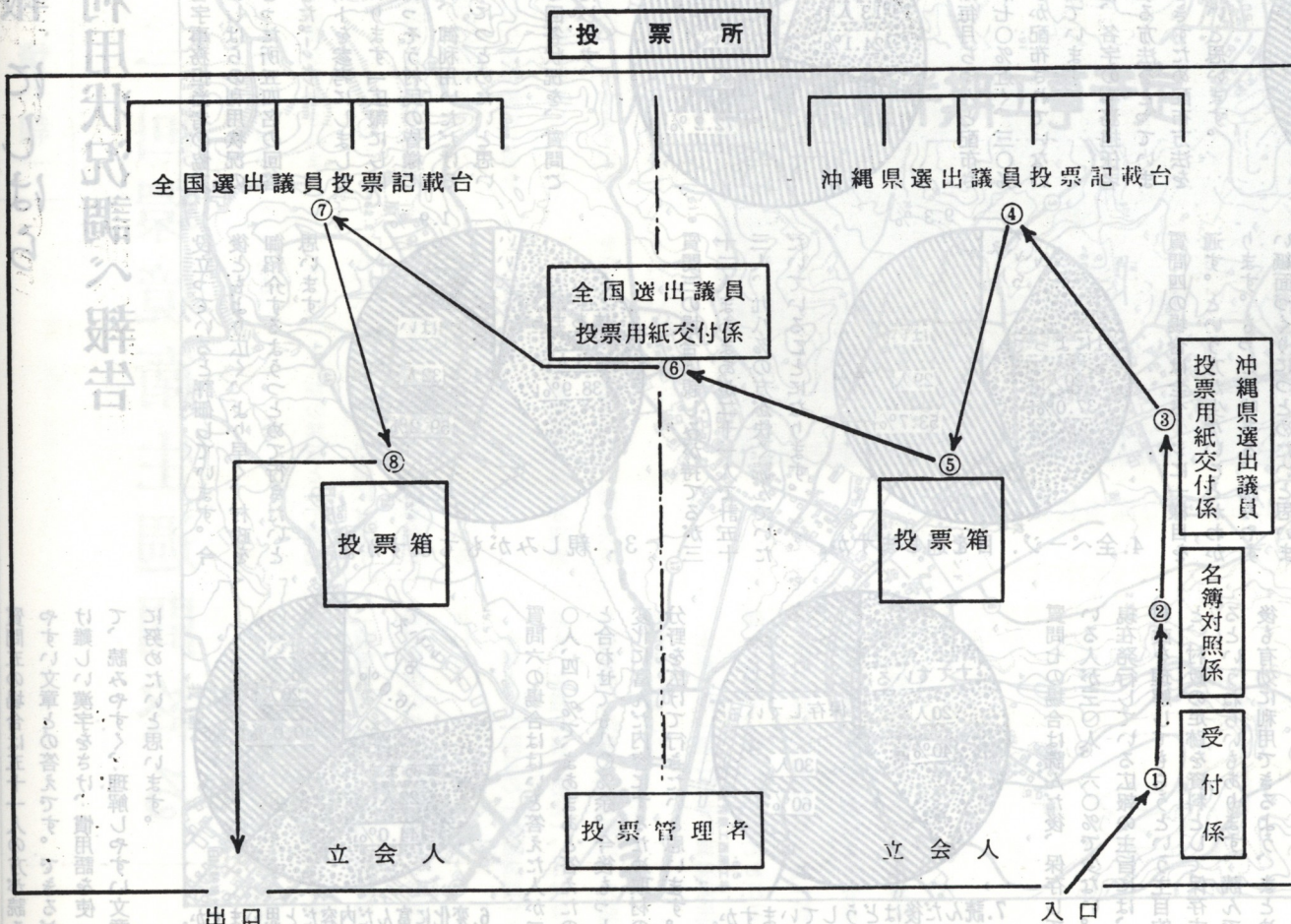
●投票は同じ投票所で同時に行なわれるので、候補者をまちがわれないように注意してください。

●投票用紙は色分けしてあり、沖縄県選出議員の投票用紙は、うすい黄色、全国選出議員は白色です。

●投票時間は午前七時から午後七時までです。

△投票の順序 別図の通りです。

7月7日参議院議員選挙投票日



経過の概要

昭和49年度の個人の村民税の改正された点

昭和49年度の村民税の改正は、昭和48年度に引き続いて納税者の負担の軽減を図るため、昭和48年度の所得税法改正に伴う給与所得控除の引き上げのほか基控除、配偶者控除、扶養控除等が上げられました。また、障害者控除、老年者控除、寡婦控除及び勤労厚生控除についてもそれぞれ引き上げられるとともに、障害者未成年者、老年者及び寡婦についての非課税の範囲が、広げられました。このほか、土地対策の一環として、所得税において事業所得又は雑所得の基因となった礎土地等の譲渡による所得に対する課税の特例措置が設けられたのに対して、村民税の課税についても所得税と同じような課税の特例が設けられました。

一 主な減税の内容は、次のとおりです。

(一) 基礎控除などの所得控除の引き上げによる減税

村民税の所得割は、納税者の所得の大小に応じて負担していただく税金ですが、所得の全体に対して税金がかかるものではありません。納税者に配偶者や扶養親族がいることによって、それぞれの控除がその納税者の所得から控除できる方法があり、これらを差引いた残りの所得に対して税金が、かかることになります。

基礎控除 (納税者全員が差し引かれます)

昭和48年度

昭和49年度

配偶者控除 (控除対象配偶者をもつ納税者が差し引かれます。)

16万円

18万円

扶養控除 (扶養親族をもつ納税者が差し引かれます。)

15万円

18万円

(ただし、納税者に配偶者がいない場合の1人目に限り)

12万円

14万円

◎ 以上の減税措置により夫婦子供二人の給与所者の課税最低限は、障害者控除、老年者控

14万円

16万円

除、寡婦控除、勤労学生控除等は

86万円

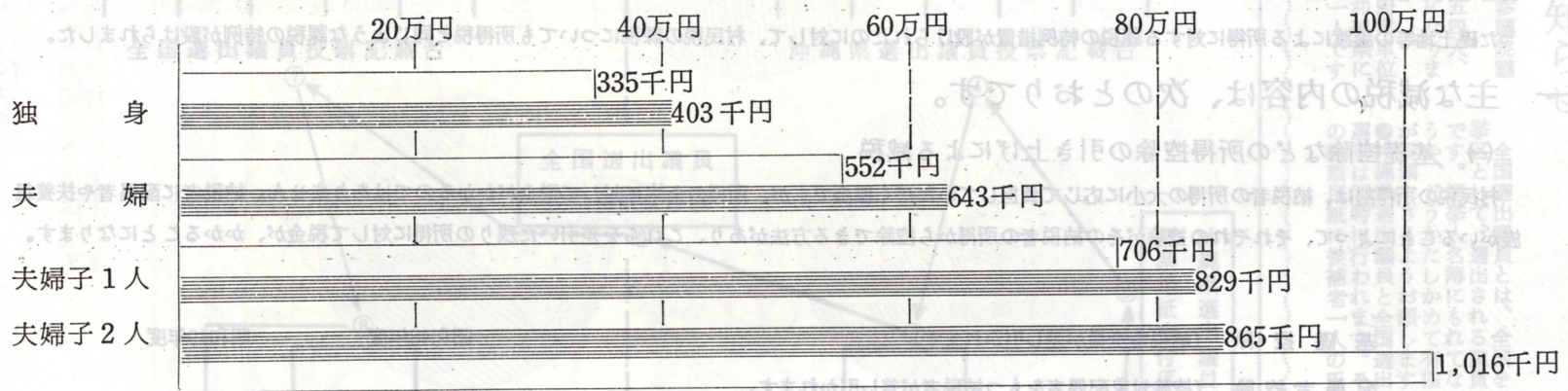
101万円

12万円

13万円

二 住民税の所得割のかからない人

新聞などでよく「課税最低限は何万円」という言葉がでてきますが、この課税最低限とは、納税者の収入や所得が、どの程度であれば税金がかからないという一応の目安です。そこで、基礎控除、配偶者控除、扶養控除及び社会保険料控除だけが差し引かれる人の場合を例にとって、収入の限度額を家族別に計算すると次の表のようになります。(給与所得者の場合)



◎ この金額は、給与所得控除を差し引く前の収入金額です。

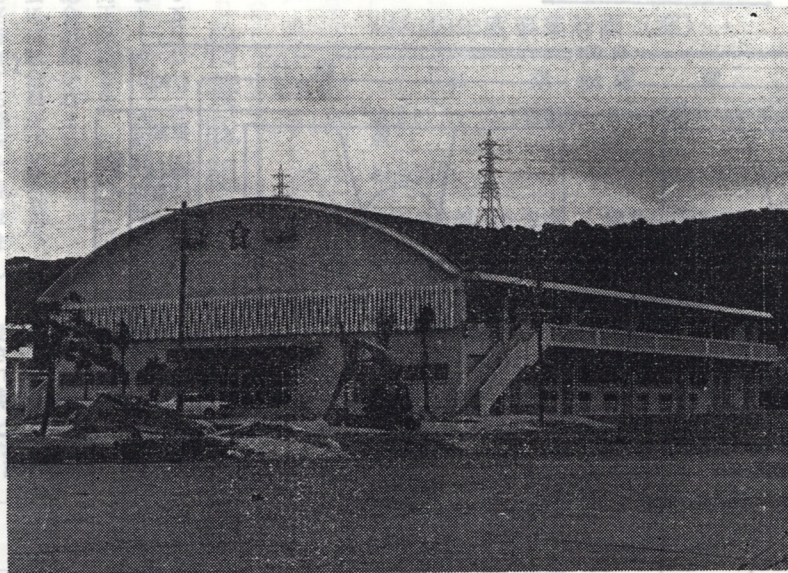
三 村民税及び県民税における譲渡所得の課税

本村では今年から土地、建物等の資産を譲渡した所得に対し村民税が課税されるようになりました。譲渡所得には短期と長期に区分されますが今回は短期はなく、長期譲渡所得だけが課税の対象になりました。短期譲渡所得とは、資産の所得の日以後5年以内に譲渡したもので長期譲渡所得は5年以後、譲渡したものである。その税率は次のとおりであります。

譲渡の時期	県民税	村民税
昭和48年中	1.3%	2.7%
昭和49年50年中	1.6%	3.4%

経過の概要

昭和48年5月15日	体育館設計内容審査申請認可
5月26日	館体育館、学校環境整備期成会準備委員会
6月11日	体育館学校環境整備期成会結成総会 (会長親泊輝武)
7月15日	国庫負担事業認定される
8月7日	建築確認認可
8月24日	体育館建築工事入札(仲本組) 電気工事(沖電水)水道工事(新和設備)
8月30日	議会において建築契約議決される
8月31日	体育館敷地地鎮祭挙行
8月31日	期成会総会
9月1日	体育館建築起工
10月25日	基礎検査
11月5日	期成会の募金する寄付金に対する免税認可 (国税庁)
11月11日	体育館内部施設備品入札
11月12日	期成会理事会
11月21日	期成会理事会
昭和49年1月29日	鉄骨電気水道配管検査
2月8日	期成会理事会
3月15日	外装検査、電気水道配管検査
5月15日	竣工検査
6月1日	落成記念式典及び祝賀会



この程、完成して全疏でも2番目(中学校の)に大きい体育館

村民の広場

西原中学校体育館落成

去る六月一日、午後二時から落成した真新しい西原中学校体育館で同体育館の落成記念及び同校創立十五周

年記念式典が盛大に行なわれました
主催は、西原中学校(松田弘州校長)及び体育館学校環境整備期成会

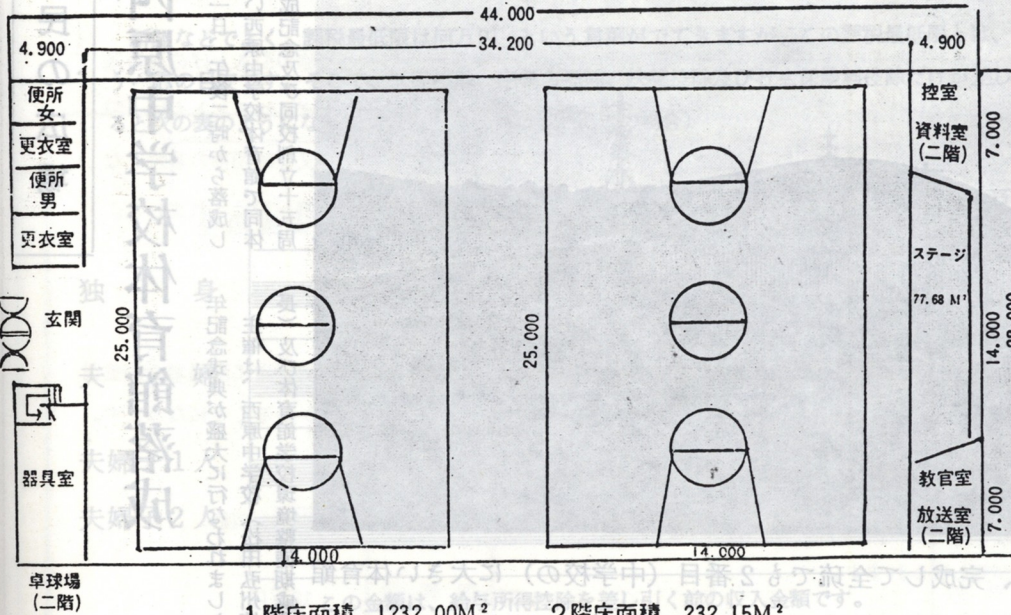
(親泊輝武会長)。体育館は在学生八〇〇名余父兄村民五〇〇名余でざっと一、三〇〇名ぎっしりの状態。前年の八月三十一日に地鎮祭が行なわれ約九カ月の工期で見事完成、同体育館は、県下の中学校体育館としては二番目に大きいもので、それだけに村当局、議会、村民の絶大な協力のたまもの、とその喜びもひとしお。

体育館建設の経過及び体育館建設費の詳しいことは別表に見る通りです。それから見ると学校教育の充実のためにいかに村民が積極的な協力をやってきましたかそして、その結果がどんなにすばらしい体育館を実現させたかがありとうかがえます。

落成当日の生徒たちの顔はもうろんのこと、先生、父兄村民の表状にも、力を合せば大きな力となるんだなと晴れやかな笑いがうかがえた。当日は、同体育館建設に、とくに功労のあった個人、団体の方々に感謝状が贈呈され、さらに西原中学校歴代の発展に尽くされた歴代の同校校長就任者に感謝状が贈呈され、労がねぎられました。

式典の後は各字から、その目のために準備された、バラエティーに富む余興が披露され楽しいひと時が午後八時ごろまですごされました。

体育館平面図



1階床面積 1232.00M²
(体育室 950.17M²)

2階床面積 232.15M²
延面積 1464.15M²

寄付金

① 字別寄付金	6,407,000
② 個人	985,660
③ 西原教友会	1,063,680
④ 那覇郷友会	360,500
⑤ 西原中学校職員	78,000
⑥ T2期卒業生	24,560
⑦ 企業	10,350,000
合 計	19,271,101

体育館建設費の概要

1. 負担者別内訳

(1) 国の負担	41,074,000円	
(2) 村の負担	97,556,000円	簡保融資 25,600千円 沖銀融資 8,400千円 一般財源 63,556千円
(3) 期成会の寄附	12,990,000円	内部施設備品
計	151,620,000円	

2. 施設別内訳と施行者

施設	予算	施行者
本 体	101,000,000円	合資会社 仲本工業
電気施設	6,500,000円	沖縄水工事株式会社
水道施設	2,000,000円	新和設備工業所
土地購入	24,750,000円	
設計委託料	4,380,000円	東和建築設計事務所
内部施設備品	12,990,000円	文教図書・宮平体育堂・琉球器材社等
計	151,620,000円	

昭和49年度事業計画 (案)

年月日	事業計画明細
昭和49年4月	中部養豚組合連合会主催養豚まつり参加出品
4月	49年度総会について (理事会)
4月	村養豚組合独自で種豚購入
5月	総会開催
6月	本土視察研修 (九州地区予定) 公害施設、団地等見学
〃	村補助豚 (雄) 購入予定
7月	本土の視察研修の結果を基礎に冲縄で最も適した条件を取り入れ団地、公害施設等の討議を行う。
6月	同上の問題を県庁、畜産会の職員を派遣申請して指導を受ける。
8月	県、地区、村の各主催する展示会に出品の前調査を行いその準備を整るため理事会を催す。
9月	村主催畜産展示会開催、参加出品30頭予定
10月	地区 〃 〃 4頭〃
11月	県 〃 〃 西原村での開催予定ですので特に力を入れる
12月	50年度に向けて各市町村事業調査、意見交換を行う。
昭和50年1月	50年度予算 (案) 49年度決算 (中間) 補助申請書の準備 (役員)
2月	村補助申請書完備提出
3月	予算、決算、総会について (理事会)

村養豚組合 昭和四九年度定期総会終る

去る五月二十三日、午後二時から村役場ホールで、西原村養豚組合 (城間正保組合長) の昭和四九年度定期総会が開かれました。

総会には組合員及び関係者が、約百五〇名参加する盛況を見せました。

城間組合長の力強いあいさつの後、同組合に「のぼり」を寄贈された翁

長子明氏 (幸地)、呉屋幸助氏 (呉屋) のお二人に感謝状が贈呈されました。

その後、昭和四八年度の事業報告及び決算報告がなれ、万場一致で承認されました。

本年度の予算及び事業計画についても真剣な討議がなされ原案通り採択されました。

本年度の予算総額は四九万六千円で、主な事業として、①種豚購入、②本土視察研修、③畜産展示会出品等を計画しています。

最後に役員改選が行なわれ、現城間正保組合長が、全員一致で再選され盛況のうちに午後五時ごろ閉会されその後懇談に移りました。

西原村畜牛組合
昭和49年度事業計画 (案)

計画年月日	事業明細
49年4月	総会について (理事会) 本土視察について人選
5月	総会開催
6月	本土の先進地を視察 優良品種の導入
7月	飼料関係対策、経営技術等の相互研究
8月	県主催の畜産展示会に向けて県畜産会、登録協会の職員を派遣申請して畜産に関する指導を受ける
9月	県、地区、村の各主催の展示会に出品のため理事会を催し本格的な準備体制を図る
10月	村主催展示会に出品準備、選定にかかる (前調査)
10月	〃 〃 出品、会場作りその他に協力
11月	地区主催展示会出品
11月	県主催展示会に出品
12月	49年展示会の結果を反省し50年度に向けて準備のため各市町村の事業計画その他について意見交換、資料収集
50年1月	50年度予算案、49年度決算 (中間) 村への補助金申請に必要な書類を作成
2月	同上案を資料 (理事会) 申請書提出
3月	49年度決算、事業報告、50年度予算案、事業計画案の総まとめ 次年度総会準備、会計監査を受ける。

村畜牛組合 昭和四九年度定期総会終る

去る五月十日、午後二時から村役場ホールで村畜牛組合 (与那嶺榮幸組合長) の昭和四九年度定期総会が開かれました。

会場は組合員及び関係者、百人余が集り、昨年の事業報告、決算報告

及び、昭和四九年度事業の計画、予算案等が真剣に話し合われました。

畜牛組合の本年度の予算規模は、三四万九〇〇〇円余で、主な事業として①本土先進地の視察 (六月)

②飼料関係対策、経営技術の相互研究 (七月) ③畜産共進会出品 (十月) 等が計画されています。

会は盛況のうちに午後五時ごろ閉会されました。

第二回西原村老人

クラブ大会にぎわう

現代の若者に負けてなるものかと去る五月二日、午後二時から村役場ホールで第二回西原村老人クラブ大会が開かれました。

同大会は、結成二年を迎え単位クラブも十九単位となって村老人クラブが、日に日に変わる社会の流れを正しく理解できる知識と健康、生きがいある生活を生む近代的な活動のあり方と今後の老人福祉の施策を推進すること等を目的として開催されました。

会場には会員はじめ来賓を含め約四〇〇名も参加するという盛況ぶり、明治の若者、今なお健在ノと意気盛んな様子。

与那嶺義孝副会長の開会のことばに始まり、次いで優良単位クラブの表彰及び感謝状贈呈が行なわれ、兼久若松会と小那覇老人クラブがクラブ表彰、前村老人クラブ副会長の城間盛次氏に感謝状が、それぞれ贈呈されました。

新年度役員の紹介の後、昭和四八年の事業経過報告、昭和四九年の事

業計画（別表）の説明がなされ、その後、官平村長、親泊村議会議長、

中部地区老人クラブ連合会のお祝のことばが述べられました。
金城澄副会長の開会のことばの後楽しい余興にうつり、この日のために、練習した群舞、琉舞等のバラエティーに富んだ出しものでおそくまでにぎわいました。



棚原老人クラブによる、稲しり節の踊り

村老人クラブの状況

1 会の目的

- (イ) 老人福祉増進の調査研究及陳情、請願
- (ロ) 所属単位団体の育成指導
- (ハ) 各種団体との連絡調整
- (ニ) 講演会、研修会、社会見学、観光娯楽
- (ホ) その他必要な事項

※※※ 事業の方針

事業については会の目的事項について無理がないように喜んで参加が出来るよう配慮して実施する。

2 村老連役員

役名	氏名	行政区
会長	玉那覇 馨	小那覇
副会長	与那嶺 義孝	津花波
〃	金城 澄	安室
〃	大浜 静	兼久
事務局	与古田 光順	伊保の浜
監査員	大城 康秀	小橋川
〃	大城 孝敏	兼久

昭和48年度事業経過報告

西原村老人クラブ連合会

4月23日	老人クラブ実態調査
4月16日	重点指導単位老人クラブの設定報告
4月20日	役員会及び支部長会
5月31日	役員会及び支部長会（第1回中部地区老人クラブレクリエーション大会参加について）
5月24日	老人クラブ指導者宿泊研修会参加
5月25日	老人クラブ指導者宿泊研修会参加
6月2日	徳佐田、森川老人クラブ結成打合わせ会
6月4日	小波津老人クラブ結成会 伊保の浜、崎原老人クラブ結成打合わせ会
6月8日	安室、桃原老人クラブ結成打合わせ会
6月10日	我謝老人クラブ結成打合わせ会
6月22日	中部老人クラブレクリエーション大会参加
7月16日	民教協沖縄九州地区大会へ参加
7月24日	老人スポーツ指導者講習会
8月2日	老人指導者講演会へ出席
8月9日	支部長及び役員会
8月31日	中部老人スポーツ大会開催に伴う老人スポーツ指導者講習会
9月7日	第4回中部地区老人クラブ大会参加
9月10日	支部長会及び役員会（中部老人スポーツ大会練習計画について）
9月25日	中部地区老人スポーツ指導者打合わせ会
10月2日	老人スポーツ大会練習会（幸地）
10月4日	役員会及び支部長会（老人スポーツ練習）
10月5日	棚原、徳佐田老人スポーツ練習

3 単位クラブの状況

49年3月末

男 206、女 255 計 461

単位クラブ名	男	女	計	会長	氏名	副長	氏名
幸地	15	18	33	〃	与那嶺 太郎	〃	与那嶺 カマ
棚原	17	25	42	〃	比嘉 秀行	〃	伊波賢政、比嘉ウト
徳佐田	5	6	11	〃	安座間 喜盛	〃	佐久田 朝一
上原	6	6	12	〃	泉川 寛永	〃	屋良 朝智
翁長	19	22	41	〃	城間 清茂	〃	
呉屋	5	7	12	〃	呉屋 嘉真	〃	
津花波	4	8	12	〃	与儀 清行	〃	
小橋川	9	9	18	〃	呉屋 亀助	〃	宮城 良信
内間	11	10	21	〃	大城 勝治	〃	与儀 未広
掛保久	2	2	4	〃	玉城 永保	〃	
嘉手苅	3	4	7	〃	呉屋 好信	〃	
小那覇	26	30	56	〃	中山 亀善	〃	新垣 チエ
仲伊保	16	22	38	〃	石原 佑規	〃	新垣 ヨシ子
若松会	34	37	71	〃	玉井 正徳	〃	与那城 有正
与那城	6	9	15	〃	小橋川 平昌	〃	
安室	6	7	13	〃	喜屋武 有栄	〃	
桃原	6	7	13	〃	喜屋武 久太郎	〃	
池田	6	14	20	〃	比屋根 定智	〃	野原 由道
小波津	10	12	22	〃	小波津 武	〃	呉屋 敏助

昭和49年度 事業月別計画表

西原村老連

村老連事業計画		中部老連事業参加
4 月	老人学級開始(菊の部門) 小那覇月例会、若松月例会	教養講座
5 月	本土研修(東京、神奈川、長野)老人学級我 謝クラブ結成準備会 呉屋、津花波、仲伊保、映写会及び健康相談	教養講座
6 月	奉仕作業(22日慰霊塔)視察 我謝、映写会及健康相談 老人学級小橋川、内間、掛保久、嘉手苅映写 会	中部地区レクリエーション 大会 研修会及び教養講座
7 月	老人学級 小波津映写会 池田、安室、桃原映写会及び健康相談	教養講座
8 月	老人スポーツ研修会、老人学級 各単位老人スポーツ練習会を開催 老人健康診査	老人スポーツ研修会 老人スポーツ実行委員会
9 月	老人スポーツ練習会、老人学級	老人福祉大会(第5回)
10 月	第2回中部老人スポーツ大会老人学級 奉仕作業(西原の塔)	老人スポーツ大会
11 月	老人学級発表会(展示会)花き盆栽展 幸地、棚原老人会講演(吉本先生)徳佐田	老人福祉文化展 教養講座
12 月	老人学級、我謝クラブ指導	教養講座、研修会
1 月	老人学級、役員会 若松会、小那覇月例会	教養講座
2 月	老人学級、役員会 若松会、小那覇月例会	教養講座
3 月	老人学級、総会、役員会、決算	研修会

※ 毎月1回役員会を開催する。

青年学級開講す

去る五月六日、午後八時から村役
場ホールで昭和四十九年西原村青年
教室の開校式が行なわれました。

開講式には、学級生が十名余集り
力強いスタートを切りました。

親泊村議長も激励のため列席
され、楽しいふんいきのうちに進行
されました。

今年の学習目標は、郷土を知ろう

をテーマにし、郷土の今昔を探り、
又、西原村の移り変りを知ろうとい
うもの。

学級生は、これから郷土のことを
深く、幅広く探って行くことの興味
と、希望に胸をふくらませていまし
た。親泊議長も激励の言葉の中で「
西原村に生れた事を喜び、誇りに思
っている。みなさんも、そのことを

胸に、ひめて頑張って欲しい」との
べられ、学級生も目を輝かせて、う
なずき感激しておりました。

青年学級は毎週水曜日の八時から
十時まで、村役場ホールで行なわれ
ます。

学級長は宮里憲幸さん(現平敷屋
小、教諭)で、六月から来年の一月
まで別記のプログラムで学級活動を
持つことになっています。

月 日	テ	マ	学 習 内 容	指 導 者
五月	これから青年教室	I 男女交際	自分たちで育てていく教室とし、学習計画等懇談 青春を有意義に過すために異性への理解を深める 映画を通して性の正しいあり方と性病の恐ろしさを知る	主 事 宮 里 憲 幸 崎 浜 敏 子 玉 那 覇 清 徳
六月	性と青年	琉球の陶器		

会をとじた。

去る五月八日、午後二時から村役場ホールで西原中学校（松田州弘校長）の昭和四十九年度のPTA総会が開かれた。

その後、新田職員の紹介、記念品贈呈、年間経過報告、議案審議、等がスムーズに行なわれ、松田州弘校長のあいさつ、その他来賓祝辞が行なわれ五時ごろ、とどこおりなく総

[illegible]

全鶏勲章受賞者紹介

去る五月二十日午前九時から村役場ホールで、満州事変までの功績により金鶏勲章を授与され、年金支給を受けていた本村の四名の方に、金鶏勲章、銀杯及び章記の授与が、行なわれました。

●大城喜一―銀杯一組と章記―

西原村字小橋川六番地

●城間正保―銀杯一組と章記―

西原村字兼久一〇一番地

●大城盛善―銀杯一組と章記―

西原村字我謝一八六番地

●奥浜真一―銀杯一組と章記―

西原村字我謝二四一番地



前列右から 大城喜一氏 城間正保氏 大城盛善氏

村体協の本年度

事業計画まとまる

去る五月二十七日、午後七時半か

ら、村役場ホールで、西原村体育協会（平安恒政会長）の理事会が開かれ、昭和四十九年度予算及び事業計画が審議決定された。

役員改選も行なわれ、新体協長に小川元氏（現教育長）が選ばれ、以

下、新役員、事業計画は次の通り。

▼副会長：稲福恭助、事務局長：我謝孟功▼総務：中山博光、野国昌徳
 崎原盛広、安里洋子、玉那覇洋▼陸上部長：小川肇、副部长：玉城善一
 平良政義▼野球部長：玉城善則、副部长：仲本良雄、新垣茂夫▼箏球部

長：池原喜代一、副部长：呉屋清▼
 排球部長：大城孝市、副部长：平良昌二、呉屋博光▼卓球部長：城間太郎、副部长：大城守康▼庭球部長：大城助徳、副部长：喜納昌春▼ソフトボール部：喜納昌義、副部长：新垣澄枝

西原村体育協会

月別	予 定 行 事
4	役員改選 理事会 事業計画予算審議
5	少年野球大会 中学生野球大会
6	各字対抗野球大会（30日） 各字対抗バレーボール大会（16日） 各字対抗バスケットボール大会（16日） 各字対抗卓球大会（16日）
7	中頭郡夏季総合体育大会（27日土 28日） 排球 箏球 卓球 庭球 野球 サッカー ソフトボール ハンドボール 剣道 柔道 相撲
8	村民体育大会（11日） 中頭郡陸上競技大会（18日） コザ市宮競技場
9	村内職域野球大会
10	村内職域バスケット バレーボール大会
11	各字対抗ババさんバレー ボール大会
12	テニス大会 ソフトボール大会
3	理事会 次年度計画

私の主張

「私が生活改善グループ

で得たこと」あやめグループ

呉 屋 光 子

村普及事業実績発表大会より

私たちの「あやめグループ」が結成されたのは、今から三年前の昭和四十六年の八月です。丁度その年は

復帰を目前にひかえ社会情勢も、こんとんとして生活の不安を訴える人達が多く、右を向いても左を向いても復帰不安の話ばかりで、健康で明るい家庭を築くには、どうしたらよいか考える余裕もない有様でした。

そうした中で、私達の部落が生活改善の事業のいっかんとして、濃密指導部落地域として選定されることになりました。

当時、部落戸数一六〇戸内外で、ほとんどの主婦が家事や農作業に追いまくれ主婦としての勉強をしようとする意欲にかけ、集会もあまり持てなかったのが現状でした。

そういう状況で、濃密指導部落として重点的に指導を受けることになりグループ結成の気運が急速に高まったのは「味そ」作りを教えてもらったのがきっかけでした。

今まで購入品だけに頼っていた私達は、手作りでおいしい味そなども作れるとあって、グループ活動の意義を知らされました。そこで賛同者をつのつたところ九名の方が集り、あやめグループの結成となりました。

乳呑み児をかかえている人や、まだ、まだ育児に手のかかる子供がいて思うように、出かけることが出来ない人達ばかりですが、私達も負けずに、最初は「味そ」作りを教えてもらいました。

出来上がった「味そ」の何とも言

えない香りや味そ独特の味を忘れることは出来ません。

二回目には、自分達だけで作ってみようということで実習をしました。「コウジ」が思うように出来ずに心配しましたが、東奔西走してやっと自分達の味そを作ることが出来ました。

その時の感激は何ものにもかえがたいもので会員一同ほんとに喜び合いました。「成せばなる」ということわざを、その時しみじみと胸に感じさせられました。

改善グループが出来た私達の部落には活気があふれてきました。

公民館に台所もできたので料理などもいろいろ勉強しております。

私達のグループでは、自家製の利用法、おやつ作り方、調理並びに衣服の技術習得のための勉強をしました。

今、グループでは、料理の本などから見て、おいしそうなのを作って試食したり、自分の得意な物を皆に教えたりして助け合っている。

皆が集まると育児や教育の話も出て来て、公民館の中が保育所みたいになることもあります。

グループ員になったおかげで多くの人達とお友達になり、色々な勉強が出来て嬉しく思っています。

今後は、グループが一致団結して世の移り変りの激しい中で、台所のことのみに限らず、子供の養育、社会婦人としての教養を身につけるために善及員や先輩方の教えを受けながら生活改善の目標である「健康で明るい家庭生活をきずく」ためにまっしぐらに進んで行きたいと思っています。

意見発表する呉屋光子さん



告知板

児童手当を

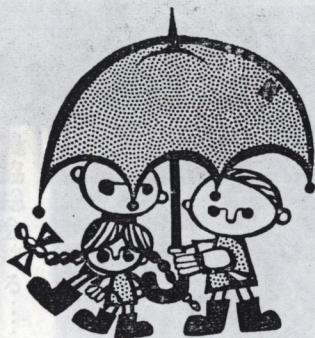
受けている皆さんへ

児童手当現況届の時期がきました
児童手当を受けているすべての方が
六月一日から三十日の間に、児童手
当現況届を村役場厚生課で行なっ
て下さい。

この届出は毎年一回、すべての受
給者が、出さなければならぬ届で
受給者の皆さんの前年の所得の状況
養育の状況などを、毎年六月一日の
状況について確認するためのもの
です。

もし、この届を出さないと、引き
続いて受給資格があっても、六月分

以後の児童手当の支払を受けること
ができなくなりますから、忘れずに
必ず提出して下さい。



いられます。

芳志御礼

▼前坂田小学校長の新垣太敬氏（現
津覇小学校長）から村育英会に三
万円寄付がありました。

▼西原村字兼久一番地の新垣良康氏
から村ボーイスカウトに一万円の
寄付がありました。
紙面をかりて、村民にかわって御
礼申し上げます。

昭和四十九年

就業構造基本

調査の協力願ひ

来たる七月七日から総理府統計局
の昭和四十九年、就業構造基本調査
が行なわれます。

本村の場合は三調査区に区分され
各調査区とも、昭和四十五年に実施
された国勢調査から、二五世帯程度
が抽出され、調査対象とされます。

それからすると、本村では七五世
帯程度が対象になりますが、対象と
なった世帯は、調査の内容を良く理
解していただき快く御協力下さいま
すようお願い致します。

▼就業構造基本調査とは……

「我が国の人口のうち、昭和四十九
年七月一日現在で、ふだん働いてい
る人が何人で、どんな産業や職業に
従事して、どのくらいの時間働いて
いる、どのくらいの収入を得ている

か、また産業間、地域間で、どのよ
うに移動しているか、あるいは仕事
を探している人はどのくらいいるか
など、国民の就業状態に関する基本
的構造を全国及び地域別に明らかに
することを目的としている調査で
す。

この調査は、全国の約百分の一の
世帯について、標本調査法によつて
行ないます。

調査の結果は、全国のほか、都道
府県、十大都市、地域ブロック別な
どにまとめられ、国や地方公共団体
の雇用対策をはじめ、各種の経済計
画のための基礎資料として利用され
ており、例えば、経済計画や雇用計
画の立案、労働供給の予測、国民所
得の推計、労働情勢の分析などに用